

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	関西医療大学
設置者名	学校法人関西医療学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile07.php 事務所で閲覧
収支計算書又は損益計算書	https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile07.php 事務所で閲覧
財産目録	https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile07.php 事務所で閲覧
事業報告書	https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile07.php 事務所で閲覧
監事による監査報告(書)	https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile07.php 事務所で閲覧

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/evaluation/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/evaluation/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保健医療学部、保健看護学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile01.php ）
（概要） 本学は、広く一般教養を高めるとともに、高い倫理観を養成し、より深い専門知識と技術を教授研究し、国民の保健に対する社会の要望に応えうる技術と能力を備えた人材の育成に努めることを教育研究上の目的としている。
卒業又は修了の認定に関する方針 （公表方法：大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/policy/ ）
（概要） 本学は、大学全体、学部、学科単位で卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を策定し、ホームページ、大学ポर्टレート、学生便覧等で公表している。このうち、大学全体のディプロマ・ポリシーは次の通りである。 関西医療大学は、建学の精神「社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神」を具現化するため、卒業認定に必要な所定の単位を修得し、医療人に求められる次の能力を身につけ、地域で医療を必要とする人々への奉仕の精神を持ち続ける学生に対して、学部・学科ごとに、学士の学位を授与します。 1. 医療人として、豊かで深い教養と倫理観を身につけている 2. 保健医療の各分野で求められる専門的な知識をもち、医療技術を実践できる 3. 新たな課題を科学的・論理的に探求して解決できる知性を身につけている 4. チーム医療の一員として、自らの責任と役割を理解して行動できる
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/policy/ ）
（概要） 本学は、建学の精神を具現化するため大学全体、学部、学科単位で教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を策定し、ホームページ、大学ポर्टレート、学生便覧等で公表している。このうち、大学全体のカリキュラム・ポリシーは次の通りである。 関西医療大学は、大学全体および各学部・学科のディプロマ・ポリシーを満たし、建学の精神を実践する医療人を養成します。そのために、授業科目全体を、教養教育を行う総合教育科目と各学部・学科における専門教育科目に分け、学科ごとに、目指す医療資格の指定規則等の定めにより、学年進行に沿って各科目を体系的に配置した教育課程を編成します。この課程の実施により、学修効果を高め、医療人に求められる次の資質・能力を養成します。 1. 人々の悩みを深く理解できる豊かな教養と倫理観を育む 2. 保健医療の基礎的及び専門的な知識を理解し、実践的な医療技術を発揮できる力を育む 3. 時代の流れに広く関心をもち、新たな課題を探索して解決できる力を育む 4. チーム医療の一員として責任をもち、協調して行動できる力を育む
入学者の受入れに関する方針 （公表方法：大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/policy/ ）

(概要)

本学は、建学の精神を具現化するために大学全体、学部、学科単位で入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、ホームページ、大学ポートレート、募集要項等で公表している。このうち、大学全体のアドミッション・ポリシーは次の通りです。

関西医療大学は、建学の精神「社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神」に共感し、次の意欲をもって地域社会へ貢献しようとする新しい力を求めます。

1. 人々が医療を求めることを理解し、それに応えられるようになりたい
2. 保健医療の基礎的及び専門的な知識と技術を学び、自分の力を発揮できるようになりたい
3. 身につけた知識と技術を生かし、課題を探究して解決する力を高めたい
4. チームの中で自らの役割を果たし、人々の健康を支える医療人になりたい

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法:大学ホームページ <https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile01.php>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	4 人	－					4 人
保健医療学部	－	26 人	6 人	18 人	13 人	1 人	64 人
保健看護学部	－	7 人	10 人	7 人	7 人	3 人	34 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1 人		117 人					118 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： （保健医療学部） https://www.kansai.ac.jp/course/teacher/medical/ （保健看護学部） https://www.kansai.ac.jp/course/teacher/nursing/ （大学院） https://www.kansai.ac.jp/course/teacher/a_graduate/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保健医療学部	250 人	255 人	102.0%	1000 人	934 人	93.4%	0 人	0 人
保健看護学部	90 人	95 人	105.6%	360 人	396 人	110.0%	0 人	0 人
合計	340 人	350 人	102.9%	1360 人	1330 人	97.8%	0 人	0 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保健医療学部	220 人 (100%)	11 人 (5.0 %)	206 人 (93.6 %)	3 人 (1.4 %)
保健看護学部	105 人 (100%)	2 人 (1.9 %)	100 人 (95.2 %)	3 人 (2.9 %)
合計	325 人 (100%)	13 人 (4.0 %)	306 人 (94.2 %)	6 人 (1.8 %)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)
(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関することは、シラバスに掲載して公表している。シラバスは、教授会の協議を経て学長が承認した次年度の授業計画に沿って、各科目の担当教員が「関西医療大学授業概要（シラバス）作成に関する内規」及び「関西医療大学授業概要（シラバス）作成手引き」に基づいて作成している。 シラバスの記載項目は、科目の基礎情報（配当年次、区分、開講時期、単位数、科目ナンバリング等）の他、以下の通りである。 ・担当教員（実務経験を有する資格） ・目的 ・到達目標 ・ディプロマ・ポリシーに基づくコンピテンシー ・授業形態 ・授業計画（授業タイトル、自己学修内容） ・成績の評価 ・定期試験、レポート等に対するフィードバック ・自己学修（予習と復習の目安となる時間、内容） ・履修上の注意 ・テキスト ・参考資料 ・オフィスアワー
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 成績評価については学則第 25 条並びに履修および進級等に関する規程第 6 条において以下の通り定め、C 評価以上を合格としている。 S 評価：100 点～90 点（到達目標を十分に達成し、極めて優秀である） A 評価：89 点～80 点（到達目標を十分に達成している） B 評価：79 点～70 点（到達目標を達成している） C 評価：69 点～60 点（到達目標を概ね達成している） D 評価：59 点以下（到達目標を達成していない）

評価は、各科目のシラバスに示された「成績の評価」の方法に沿って定期試験またはレポート等により厳格かつ適正に実施されている。また、成績の評価に係る客観的指標には、同評価の基礎となる定期試験やレポート等の採点結果（100 点満点）と、成績の分布状況、進級判定及び特待生の選出等の指標となる functional GPA (fGPA) を用いている。 卒業又は修了の認定については、卒業認定に関する方針、学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー：DP）を策定し基準としている。卒業又は修了は、個々の学生の学修成果の到達状況を踏まえ、各学科の学科会議が作成した卒業又は修了判定案を教授会が協議し、学則に基づき学長が認定する。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
保健医療学部	はり灸・スポーツ トレーナー学科	128 単位	有	49 単位
	理学療法学科	128 単位	有	45 単位
	作業療法学科	128 単位	有	45 単位
	ヘルスプロモーション 整復学科	128 単位	有	45 単位
	臨床検査学科	128 単位	有	47 単位
保健看護学部	保健看護学科	128 単位	有	45 単位 ただし別に定める成績基準を上回る学生に限り、年間に履修登録できる単位数を49 単位まで可能とする。
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile04.php		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：大学ホームページ https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile04.php		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.kansai.ac.jp/upload/page/1/campus20260501.pdf>
<https://www.kansai.ac.jp/info/campusmap/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
保健医療 学部	はり灸・スポーツトレーナー 学科 1 年	120 万円	20 万円	60 万円	
	はり灸・スポーツトレーナー学 科 2、3、4 年	120 万円	0 円	65 万円	
	ヘルスプロモーション整復学科 1 年	120 万円	20 万円	50 万円	
	ヘルスプロモーション整復学科 各 2、3、4 年	120 万円	0 円	55 万円	
	理学療法学科、臨床検査学科 作業療法学科各 1 年	120 万円	20 万円	43 万円	
	理学療法学科、臨床検査学科、 作業療法学科 各 2、3、4 年	120 万円	0 円	48 万円	
保健看護 学部	保健看護学科 1 年	120 万円	20 万円	45 万円	
	保健看護学科各 2、3、4 年	120 万円	0 円	50 万円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 本学では各学科に置かれた学科会議が中心となり、教職協働で学生の学修支援に関する方針を策定し実施している。また、全ての専任教員がオフィスアワーを設定し、授業内容等に関する学生からの質問を受け付けている。非常勤講師も同様の時間設定や質問機会の確保を行っている。さらに、全クラスに担任を配置し、個々の学生の修学上の問題をきめ細かく支援できる体制を敷いている。その他、上級生をチューターとする正課外の補修も行われている。 修学支援に関しては保護者との連携も重視していることから、学期途中で実施する出席状況調査の報告や教育懇談会での個人面談などの機会を通じて、大学と家庭の双方において学生を適切に支援する取組みを行うよう努めている。 修学支援に関する学生からの要望は、担任との面談や提案箱、学生生活に関するアンケート、FD 授業評価アンケートなどの方法で汲み上げ、支援と指導の改善に組織的に反映させている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 正課授業として体系的に「キャリア形成科目」を設定するとともに、学科及び学年に合わせたキャリア支援イベントを開催し学生の進路支援を行っている。また、在籍する学科資格に係る業界に関わらず、卒業生を招いたイベントやオンラインを活用し、直接学生が話を聞く場を設定するなど様々な進路選択ができるような取り組みを行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 本学では、学生の心身の健康に係る相談等に対応する体制として、校医、「保健室」、「学生相談室」、「カウンセリングルーム」を配置している。「保健室」には養護教諭や看護師の有資格者を配置し、心身の不調を訴える学生や軽度の怪我等を負った学生に対して、必要な対応を行っている。また、本人の症状に応じて本学附属診療所や外部医療機関に受診照会し、対応を行っている。

また、「学生相談室」には、専任教員を相談員として配置し、「カウンセリングルーム」には、臨床心理士を配置している。

学生に対し複数の受け入れ窓口を設定し、学生の個人情報保護に十分配慮しながら、相互に連携して、学生の心的支援や生活相談等について適切に対応している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：学校教育法施行規則第 172 条の 2 に定める事項については、大学ホームページ上の下記 URL でそれぞれ公表している。

(1) 大学の教育研究上の目的に関すること

【学科組織・目的】<https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile01.php>

(2) 教育研究上の基本組織に関すること

【学科組織・目的】<https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile01.php>

(3) 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

【教員組織図】

<https://www.kansai.ac.jp/upload/page/1/R8daigakusosikizu.pdf>

【専任教員数（職位別）】

<https://www.kansai.ac.jp/upload/page/1/R8syokuibetukyouinsu.pdf>

【専任教員数（年齢別）】

<https://www.kansai.ac.jp/upload/page/1/R8nenreibetukyouinsu.pdf>

【教員紹介】（保健医療学部）<https://www.kansai.ac.jp/course/teacher/medical/>

（保健看護学部）<https://www.kansai.ac.jp/course/teacher/nursing/>

（大学院）https://www.kansai.ac.jp/course/teacher/a_graduate/

(4) 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

【3つのポリシー】<https://www.kansai.ac.jp/info/policy/>

【学生数】<https://www.kansai.ac.jp/info/students/>

【就職・進路データ】https://www.kansai.ac.jp/job_career/results/career_course/

(5) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

【シラバス】<https://www.kansai.ac.jp/course/structure/syllabus/>

(6) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

【修学上の情報】<https://www.kansai.ac.jp/info/release/profile04.php>

(7) 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

【キャンパスの概要】

<https://www.kansai.ac.jp/upload/page/1/campus20260501.pdf>

【キャンパスガイド】

<https://www.kansai.ac.jp/info/campusmap/>

【交通アクセス】<https://www.kansai.ac.jp/info/access/>

(8) 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

【入学概要 学生納付金】<https://www.kansai.ac.jp/life/expenses/>

【大学院入試情報】

https://www.kansai.ac.jp/start/admission/a_graduate/examination/

(9) 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

【奨学金】<https://www.kansai.ac.jp/life/scholarship/>

【特待生制度】<https://www.kansai.ac.jp/life/scholarship/>

【学生サポート】<https://www.kansai.ac.jp/life/support/>

【キャリアプランニング】

https://www.kansai.ac.jp/job_career/employ_support/careerplanning/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F127310108250
学校名（〇〇大学 等）	関西医療大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人関西医療学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		379人（231）人	354人（215）人	400人（239）人
内 訳	第Ⅰ区分	103人	90人	
	（うち多子世帯）	（ 29人）	（ 22人）	
	第Ⅱ区分	55人	59人	
	（うち多子世帯）	（ 10人）	（ 13人）	
	第Ⅲ区分	37人	31人	
	（うち多子世帯）	（ -人）	（ -人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	59人	52人	
	区分外（多子世帯）	125人	122人	
家計急変による 支援対象者（年間）				－ 人（－ 人）
合計（年間）				400人（ 240 ）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	— 人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	— 人	人	人
計	— 人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	— 人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	13人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	13人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。